

(第2回、最終) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和6年6月27日
契 約 業 者 名	応用地質(株)東京事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市北区土呂町2丁目61番5号
業 務 の 名 称	R5甲府河川国道管内防災点検・設計業務
業 務 場 所	甲府河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木建設関係コンサルタント
業 務 概 要 (変更した内容について記述する)	本業務は、道路防災総点検で抽出された監視管理強化箇所について、防災カルテ等を活用した現地点検を実施するものである。また、特定道路土工構造物点検のほか、防災工事等に必要な道路構造物の設計を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和6年4月19日
履 行 期 間 (至)	令和6年9月30日
変 更 前 の 契 約 金 額	73,480,000円(税込み)
変 更 金 額	+34,100,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	107,580,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 基準点測量 台風や落石等により防災カルテ点検箇所の追加の結果、設計に必要な基準点の不足が判明したため、基準点測量を追加する。 2. 地形測量 台風や落石等により防災カルテ点検箇所の追加の結果、設計に必要な測量データの不足が判明したため、現地測量を追加する。 3. 簡易動的コーン貫入試験 応急対策設計を行うための、土質データが不足していたため、追加する。 4. 中部横断道 城山TN観測 令和元年に発生した斜面崩壊により、令和2年度より計測を行っている観測を継続するために追加する。 5. 緊急点検 台風被害や落石被害により、国道への流水や土砂流出が複数発生したことにより、緊急点検を追加する。 6. 点検データベース登録費 全国道路施設点検データベースへ登録する費用について、令和6年4月より登録単価が増えたことにより追加する。 7. 工期 工期は、以上の追加により、94日間延長し、令和6年9月30日までとする。

※(第〇回、最終)は、途中変更契約の場合には「第〇回」に〇印をつけ変更の回数を記入する。最終変更の場合は「最終」に〇印を付ける。

(第3回、最終) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和6年9月19日
契 約 業 者 名	応用地質(株)東京事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市北区土呂町2丁目61番5号
業 務 の 名 称	R5甲府河川国道管内防災点検・設計業務
業 務 場 所	甲府河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木建設関係コンサルタント
業 務 概 要 (変更した内容について記述する)	本業務は、道路防災総点検で抽出された監視管理強化箇所について、防災カルテ等を活用した現地点検を実施するものである。また、特定道路土工構造物点検のほか、防災工事等に必要な道路構造物の設計を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和6年4月19日
履 行 期 間 (至)	令和7年1月31日
変 更 前 の 契 約 金 額	107,580,000円(税込み)
変 更 金 額	+4,290,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	111,870,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 緊急点検 台風の発生や地震により震度4以上を観測したことにより、緊急点検を追加する。 2. 観測地点と観測項目 動態観測中の計測機器のうち、観測不能となったものについて、現地確認や修理・更新が必要になったことにより追加する。 3. 工期 工期は、以上の追加により、123日間延長し、令和7年1月31日までとする。

※(第○回、最終)は、途中変更契約の場合には「第○回」に○印をつけ変更の回数を記入する。最終変更の場合は「最終」に○印を付ける。

(第3回、**最終**) 契約変更の内容

契 約 変 更 年 月 日	令和7年1月31日
契 約 業 者 名	応用地質(株)東京事務所
契 約 業 者 の 住 所	埼玉県さいたま市北区土呂町2丁目61番5号
業 務 の 名 称	R5甲府河川国道管内防災点検・設計業務
業 務 場 所	甲府河川国道事務所管内
業 種 区 分	土木建設関係コンサルタント
業 務 概 要 (変更した内容について記述する)	本業務は、道路防災総点検で抽出された監視管理強化箇所について、防災カルテ等を活用した現地点検を実施するものである。また、特定道路土工構造物点検のほか、防災工事等に必要な道路構造物の設計を行うものである。
履 行 期 間 (自)	令和6年4月19日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月28日
変 更 前 の 契 約 金 額	111,870,000円(税込み)
変 更 金 額	+52,030,000円(税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	163,900,000円(税込み)
変 更 理 由	1. 基準点測量 台風10号に伴う豪雨による影響で一色トンネル坑口部法面付近が崩落した結果、恒久対策設計に必要なデータを取得するため、基準点測量を追加する。 2. 地形測量 台風10号に伴う豪雨による影響で一色トンネル坑口部法面付近が崩落した結果、恒久対策設計に必要なデータを取得するため、現地測量と三次元点群測量を追加する。 3. 一般調査 台風10号に伴う豪雨による影響で一色トンネル坑口部法面付近が崩落した結果、恒久対策設計に必要なデータを取得するため、機械ボーリング、サウンディング及び原位置試験、室内試験、総合解析、中部横断道一色TN観測、運搬費、準備費、仮設費、安全費、解析等調査を追加する。 4. 道路構造物等点検 台風10号の豪雨による影響で必要となったトンネル坑口部及びの法面の、緊急点検を追加する。 5. 一般構造物設計 台風10号に伴う豪雨による影響で一色トンネル坑口部法面付近が崩落した結果、恒久対策設計に必要な一般構造物予備設計、一般構造物詳細設計、落石防護柵詳細設計、各種調査設計を追加する。 6. 工期 工期は、以上の追加により、56日間延長し、令和7年3月28日までとする。